



みやぎ

- 22号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院
 発行責任者 木村 格
 〒989-2202 宮城県亶理郡山元町高瀬合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

●●基本理念●●

良い医療を安全に、心を込めて

病院の創立70周年を迎えるとき

院長 木村 格

いつも宮城病院をご利用いただきありがとうございます。当院は昭和14年（1939年）の開設以来、時々の要請に応じて常に最適な医療を提供してきました。2009年の今年、創立70周年を迎えます。私たち病院スタッフも、たぶん市民の皆さまも病院がここにあり、いつでもよい医療を継続できていることをきっと当たり前と感じておられるのではないのでしょうか。創立70周年を迎える時、病院が創られ、変革する時の流れの中でも粛々よい医療を守ってこられた先達たちの努力を思い起こすのも大切だと感じます。過去を想い、病院の未来を一緒に考えていただければ幸いです。



病院誕生のことなど

昭和13年（1938年）、国は全国18ヶ所に負傷した軍人のための病院（療養所）建設を計画し、候補地として高瀬合戦原を現地調査しました。太平洋をはるかに望む高台の茫々たる原野が広がり、古くは蝦夷人が居住し、坂上田村麿らの合戦記録も残されています。縄文・弥生文化の住居遺跡や小円古墳も発掘されています。構内の横穴古墳からは平安朝（794 - 1191年）の生活土器が多数見つかり、昭和37年には敷地内に須恵器窯跡も発掘されました。院長応接室には鑑定を済ませた土器の一部が飾られています。1000年以上も前からここで人が生まれ、生き、戦った歴史と浪漫の感じられるところでもあります。

病院建設が始まると、地元や近隣町村から町民や在郷軍人、青年団、婦人会など多くの方が勤労奉仕で原野を拓き、治療棟と病室が完成しました。今でも診察をしていますと、『私は当時青年団として開墾に奉仕しました。親と一緒に工事現場に手伝いに行きました。』と話してくださるご高齢の方に何人もお会いします。この病院は自分たちが創った病院だという熱い想いが今でも伝わってきます。

私たちの病院という町民の想いは今でも続いています。毎年、何回か町民による桜など植栽の剪定、草刈りの作業奉仕をいただいています。地元からこんなに大切にされている病院は全国150の国立病院でもここだけでしょう。奉仕作業には町長さんや町議会議員さんをはじめ町内会、病院のOB・OGの皆様が参加されます。特別なことで誠にありがたいことです。

初代院長（所長）として畠山辰夫先生が東北大学から赴任されました。昭和14年2月28日には仙台陸軍病院から最初の患者20名が『坂元駅から真庭川ペリの道を隊列を組み、歩いて入院した。4kmを30分ほどかかったようだ。』と畠山先生は記録しています。この日を病院創立記念日にしています。同年5月には500床の病院が完成し、当時の廣瀬厚生大臣や浅香宮殿下が視察され、病院スタッフを激励されました。8月には看護婦養成所が付属され、昭和18年には800床、昭和26年には930床と入院需要に応じて病床数が増加しました。畠山先生は36年間院長職にあり、当院を全国有数の病院に育てられました。その伝統と精神は歴代の院長と病院スタッフに引き継がれ、育まれ、今日70周年を迎えられたのだと思います。

次のページへ続く

梅林止渴

病院構内には桜がたくさん植えられ、春には桜の名所になりますが、病院のシンボル樹は『梅』なのです。これには訳があります。

2代目院長松田徳先生によりますと、天皇陛下からの恩賜金一封を基金として梅林が創られたそうです。梅林にした理由を次のように書かれています。「中国の故事『梅林止渴』、梅林の花を愛でることで喉が渴いて水が欲しい人が癒される、医する。また梅花は肌寒い、さびしい初春にも香気あふれる美花を付けて人を楽しませ、勇気付けること」から選ばれたそうです。

私の故郷、水戸の公園偕楽園も梅林の名所です。偕楽園には水戸徳川9代藩主斉昭公の詩『雪裡（せつり）春を占む、天下の先がけ』と彫った小さな石碑があります。雪深い寒い季節にも梅の花が一輪咲くことによって人は暖かな春が来たことを感じて幸せになるという意味です。やはり人が元気になるには梅の花が一番良いようですね。



これからの宮城病院

その後、日本経済の急速な成長に誘導されるように循環器病が増加し、当院は脳卒中治療センターとして急性期から社会復帰までの一貫治療に専念しました。重症心身障害児（者）医療、アレルギー性疾患や慢性小児疾患、さらには昨今の高血圧症、肥満や糖尿病などメタボリック症候群に対する地域医療支援センターとしての役割を担ってきています。

特に神経内科・脳神経外科専門医が協働して進める神経難病治療センター（ALSケアセンターとパーキンソン病総合治療センター）の活動は広く知られ、東北地方だけではなく北海道や関東・関西からも患者を受け入れる診療体制ができています。これからも時代はどんどん変わって行くことでしょう。

優秀な医師の確保が極めて難しい昨今、全ての診療科を完璧に整えることはできません。地域の医療ネットワークとの診療連携を進めながら、職員一同はどんな時代にも即した「質の高い安全な医療を、心をこめて」提供して行きたいと願っています。皆さまのご支援とともに、忌憚のないご意見、ご要望をお寄せください。

職場紹介

～放射線科～



放射線科は、放射線技師5名、放射線助手1名、そしてこの4月からは放射線科医の館脇先生を迎え、総勢7名、少数精鋭のメンバーで、日々の検査を行っています。放射線科内には、一般・歯科・透視・ポータブル撮影装置、血管撮影装置、CT、MRI、SPECTと多くの装置があり、時には各検査が重複し、繁忙となる事もありますが、皆がうまくカバー仕合ながら、患者さんのより良い治療の手助けとなれるよう日々頑張っています。

いつも皆の体調を気遣い、風通しの良い職場環境に気配りを見せる加藤技師長。放射線科の癒し系？困った時には一声かけると解決策が出てくる安藤副技師長。放射線科のBRAIN！多趣味で公私共に頼りになる齋藤主任。実直真面目な期待の新人、三品君。花婿募集中？独女、菅野。丁寧な作業で放射線科の環境に気を配ってくれる和気さん。放射線科のレベルアップの強い味方、館脇先生。個性溢れるメンバーで、これからも楽しく、そしてピリッと「良い医療を安全に、心を込めて」日々仕事をしていきたいと思っています。
(診療放射線技師 菅野 典子)

紹介医療機関 (9月末日現在) ご紹介ありがとうございます。

- ・松村クリニック (58件)
- ・みやぎ県南中核病院 (36件)
- ・三浦クリニック (24件)
- ・東北大学病院 (23件)
- ・相馬中央病院 (23件)
- ・公立相馬総合病院 (46件)
- ・仙台医療センター (28件)
- ・平田外科医院 (23件)
- ・広南病院 (23件)
- ・南東北病院 (22件)

上位10医療機関のほか、県内外166医療機関からご紹介いただいております。





職場体験の実施

去る、9月1日(火)・2日(水)と9月10日(木)・11日(金)に亘理中学校2名と坂元中学校3名の職場体験学習を受け入れました。

職場体験のねらいは、「働くことの厳しさや喜びを実体験するとともに、将来の職業や進路に対する関心と理解を深め、自分の生き方を考える」ことで、このねらいに沿って体験を希望する中学生が自ら計画し連絡調整を行い準備して臨んだものでした。

体験初日は、生徒それぞれに緊張した表情は見られましたが、元気に挨拶しながら院内を見て回りました。その際、各職場の方には仕事の手を休めて対応して頂き、有り難うございました。

見学の後、病棟などでの職場体験が始まりました。中学生にとってはあまり触れることのない特別な職場であったと思いますが、この2日間は職業人の仲間として患者さんの言葉にしっかりと耳を傾け、入浴・洗髪等のケアに立ち合ったり、リハビリ訓練する様子を見守っていました。

体験に参加した生徒さんは、将来医療にかかわる仕事がしたいという夢を持っている人達でしたので、体験から患者さんといろいろな話ができたと、声が出せない患者さんから励ましの手紙がもらえたことなど、楽しく仕事の仲間に入れたことで「将来の夢を実現させたいという思いを強くした」、「命の大切さを実感した」などそれぞれの素直な感想の中に体験による変化を感じ取ることができました。また、坂元中学校では2日間の中で職場体験に感謝の思いを込めて手作りのプレゼントをしていただきました。まだ子供の部分と大人の部分をもった時期にあり、心配しながらも頑張してほしいという思いでお世話をしましたが素直な感性にふれ、私自身、人に夢を与えられる職業人であることを実感しながら心のリフレッシュとなったそれぞれの2日間だったと思います。

職場体験に関わっていただいた各職場・職種の職員の方々にはお忙しい中、丁寧な説明や心配りをいただき感謝いたします。
(副看護部長 中野 良子)



サマースクール開催



あすなる病棟では、今年も山元支援学校の協力のもとサマースクールが開催されました。昭和54年から各地の養護学校(現在の特別支援学校)では、障害の有無に関わらず全ての方が学校教育を受けられるようになりました。しかしその一方で、就学免除・就学猶予を受け学校教育を受けた事のないまま現在に至っている方々もいます。近年では、このような方々に対し特別支援学校への入学を許可する例も見られるようになってきましたが、宮城県ではそのような対応がまだ行われておらず、当院(あすなる病棟)においても、該当する方が約40名いらっしゃいます。

本人、保護者の高齢化が課題としてあげられる中、学校教育を受けたい、受けさせたいという思いをかたちに出来ないかという事で、当院では昨年度から山元支援学校の協力をいただきながらサマースクールの実施をしています。

療育指導室のスタッフと学校の先生方による『ちょび髭隊』の演奏で幕が開いた今年のサマースクールは、テーマソングである「ドレミの歌」のように、笑顔あふれる楽しい3日間となりました。開校式では、1年ぶりの学校の授業にワクワク・ドキドキ。2日目の活動では、音楽活動と制作活動に分かれ先生方との1対1の関わりの中で時間が経つにつれ、自然と表情もにこやかに。閉校式では、校長先生から一人一人に手渡された修了証書に満面の笑みが。

一日でも早く、皆さんが本物の卒業証書を手にすることができるよう願いつつ、今年のサマースクールも無事に終了致しました。関係者の皆様のご協力に感謝致します。
(児童指導員 猪苗代 華恵)



診療案内

平成21年10月1日現在

診療科別		月	火	水	木	金
内科		清野 仁	清野 仁		清野 仁	
		志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
			米地 稔	米地 稔	米地 稔	米地 稔
						仙台医療センター医師
神経内科	新患	木村 格	清水 洋	久永 欣哉	田郷 英昭	大隅 悦子
	再来	今井 尚志	今井 尚志	田郷 英昭	久永 欣哉	清水 洋
		清水 洋	大隅 悦子	木村 格	木村 格	平岡 宏太良 (高次脳機能障害)
			木村 格			
呼吸器科			芦野 有悟			
消化器科		未 定				
循環器科		星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午後		小児アレルギー (堀川 雅浩)	(第1・3)乳児健診	療育相談 (大島 武子)	
外科				小島 誠一 (13時から)		
整形外科		芳賀 盛 (14時から)				
形成外科						澤村 武 東 秀子 週交代 (13時30分～)
脳神経外科		安藤 肇史	安藤 肇史	安藤 肇史	手術日	安藤 肇史
皮膚科					東北大(第4木)	
リハビリテーション科					大隅 悦子	
		齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐
歯科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来			久永 欣哉		
	A L S 外来			今井 尚志	今井 尚志	
	もの忘れ外来					平岡 宏太良
	漢方外来	志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
	頭痛外来	木村 格	木村 格	木村 格		

受診される方へ

受付時間は8:30～11:00です。

土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日～1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に**2,625円を負担**していただくこととなりますので予めご了承願います。

交通のご案内

自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約4.0km、国道4号線と6号線の分岐点から南へ約2.0km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

交通機関をご利用の方

仙台方面から

JR常磐線山下駅下車、タクシーで約5分

相馬方面から

JR常磐線坂元駅下車、タクシーで約5分

